

平成28年度 デイサービスセンターふるさと有瀬 事業報告

【基本方針】

『地域包括ケアを推進し、ご利用者様の QOL の向上を目指す』

【目標】

- ① 一日あたりの月間平均利用者数 35 名以上を早期達成
- ② 外部との信頼関係をより一層深める
- ③ スタッフの接遇技術の向上、チームワーク強化を図る
- ④ レクリエーションに目的意義を持たせ、生活を有意義なものとなるよう取り組む
- ⑤ 削減加納或いは減少可能な経費を削減する

【実践報告】

- ① 一日あたりの月間平均利用者数 35 名以上を早期達成

年月	登録者平均		平均利用者数		出席率		稼働率	
2804	29.9		25.8	25.8	86.4%		64.6%	
2805	30.0		26.5	26.2	88.5%		66.3%	
2806	29.2		26.3	26.2	90.0%		65.8%	
2807	29.0		26.3	26.3	91.0%		65.9%	
2808	27.6		25.0	26.0	90.6%		62.4%	
2809	27.9		24.2	25.7	86.6%		60.5%	
2810	27.6		23.3	25.4	84.3%		58.2%	
2811	28.8		25.8	25.4	89.8%		64.6%	
2812	29.0		24.3	25.3	83.8%		60.7%	
2901	29.8		25.0	25.3	83.7%		62.4%	
2902	29.9		25.6	25.3	85.7%		64.1%	
2903	29.6		24.3	25.2	82.1%		60.6%	

- ・ 35 名には遠く及ばない結果となる。5 月時点での登録者は、30 名に達するも、利用者の入院、逝去、他サービスへの入居、ショートステイの利用頻度の増加により、稼働率は 60% 台を推移する。

② 外部との信頼関係をより一層深める

- ・担当者会議の積極的参加、スタッフによる送迎サービスの実施により、顔の見える支援を実施。
- ・連絡ツールを有効活用し、日々の申し送り等必ず記載し、ご家族様との連携を実施。

③ スタッフの接遇技術の向上、チームワーク強化を図る

- ・日々の申し送り、朝礼終礼の積極的な開催を実施。
- ・申し送りツールを作成し、口頭及び文章による利用者情報を共有する機会の確保。
- ・丁寧語の徹底及び勉強会を通じ、接遇指導を実施。

④ レクリエーションに目的意義を持たせ、生活を有意義なものとなるよう取り組む

- ・月1回の新しいアクティビティの考案を実行
- ・外出行事等年間平均5回実施。
- ・フラワー、アロマ等の外部受注サービスを導入。

⑤ 削減可能或いは減少可能な経費を削減する。

- ・可能な範囲にて、実行する。電気系統等節電、器具備品を丁寧に扱う等実行。